携帯電話／遠隔監視システム

番犬toto

取扱説明書

UCi

株式会社　う　き

はじめに

この度は「**番犬**toto」をお買い上げ頂きまして、

誠に有り難うございます。

「**番犬**toto」は、携帯電話を使用した遠隔監視システムです。

この取扱説明書は、ご利用方法を図解いりで説明しています。

本書をよくお読み頂き、「**番犬**toto」をご活用ください。

株式会社　う　き

※「**番犬**toto」の改良及び変更等により、本書のイラストや

記載事項とお客様の「**番犬**toto」が一部異なる場合が

ありますので、ご了承下さい。

目　次

動作環境と注意事項	1
インストール	2
プログラムの起動	4
基本設定	5
録画設定の前に	6
録画設定	7
マウス操作設定	8
カメラ切替参考例	9
コマンド（携帯電話からの指令）	10
稼動時間	11
WindowsVISTAでの注意事項	12
端子名	13
入力回路	14
出力回路	15
使用上の注意	16

動作環境

ご利用前に動作環境のご確認をお願いします。

■ 動作環境

・パソコンOSがWindows2000以上
・USB2.0対応（動画を利用する場合は2ポート必要です。）
・インターネット接続
・パソコン用メールアカウントを一つ以上

■ 動画利用環境

・カメラ（保存先を指定できるWEBカメラ）は別途購入し、カメラ付属のソフトを
あらかじめインストールしておいて下さい。
・本書では”Logicool社製”ウェブカメラ添付の”Qcam V11.1”で説明しています。
・携帯電話の種類によっては、動画転送を利用できない事があります。
・動画再生の出来ない場合は、QuickTimeをダウンロードし、インストールして下さい。
・QuickTimeはアップル社で無料ダウンロードできます。
・QuickTimeのインストール中の選択ではWindowsXpは32ビットを選択して下さい。
※携帯電話は定額制（パケ放題等）契約をおすすめしています。

■ 入出力使用時の注意事項（動画のみをご利用の時は、必要ありません。）

□入力とは・・・
ドア開閉時のスイッチ・人体検出センサー等を接続しON・OFF状態を知る事を
言います。
入力は８種類までご使用できます。
□出力とは・・・
機器を接続し、電灯を点ける・ブザーを鳴らす等を行う事を言います。
出力は４種類までご使用できます。

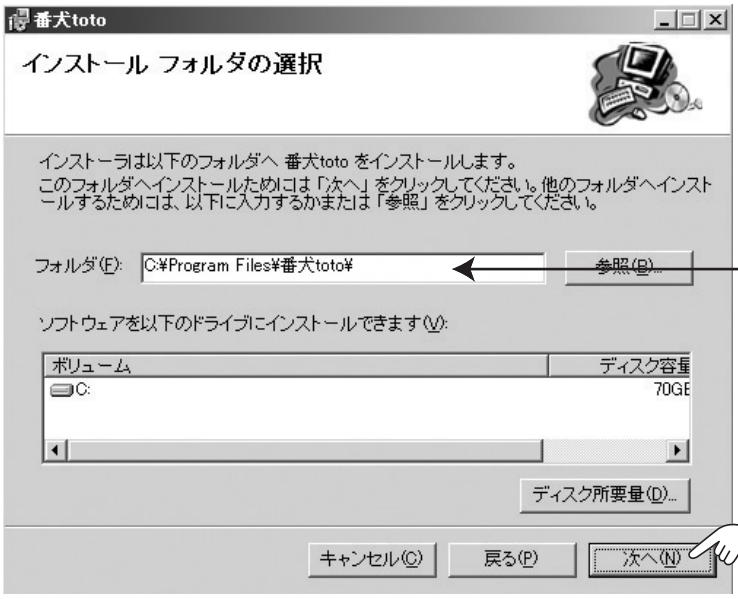
■ その他

入出力点数の増設・アナログ入力対応はご相談ください。
※アナログ入力とは、温度や張力等の電圧変化の入力を言います。

番犬totoのインストール　Windows2000又は、WindowsXpの場合

CDを挿入して下さい。
自動で立ち上がらない時は、CD内の番犬toto.msiをダブルクリックします。

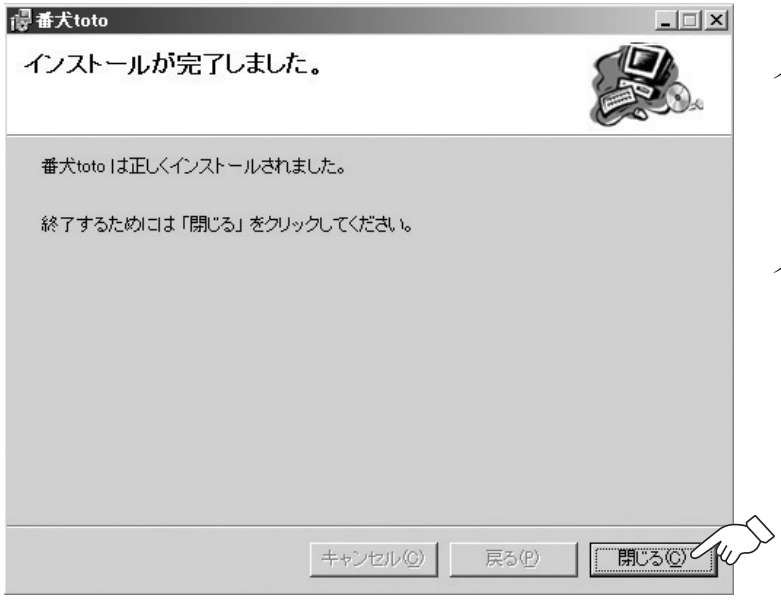
左の画面が出てきます。
【次へ (N) 】
を押してください。



フォルダ変更がなければ
【次へ (N) 】
を押してください。

※重要※
フォルダ名は録画ファイル
の保存先で必要になります。
記録しておいて下さい。

【次へ (N) 】
を押すとインストールが
始まります。



【閉じる】を押して
インストールを終了します。

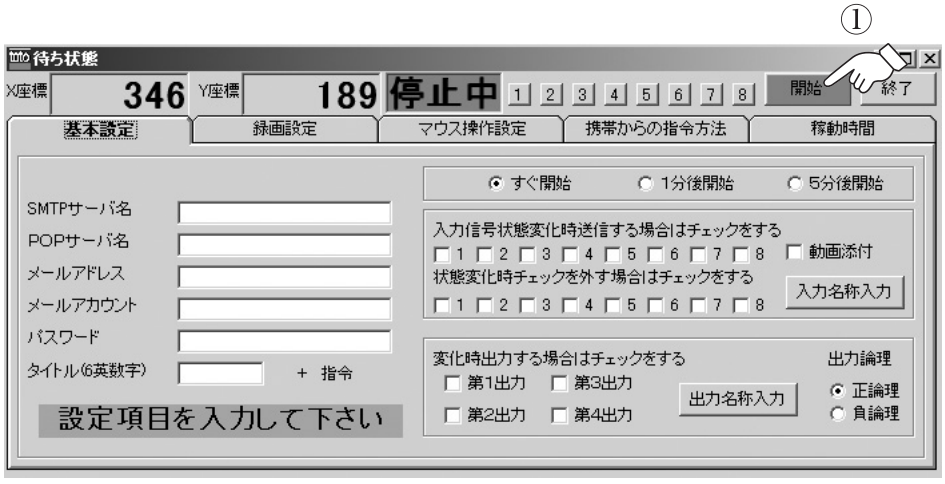
インストール完了です。

プログラムの起動

番犬totoを起動して各設定を行います。

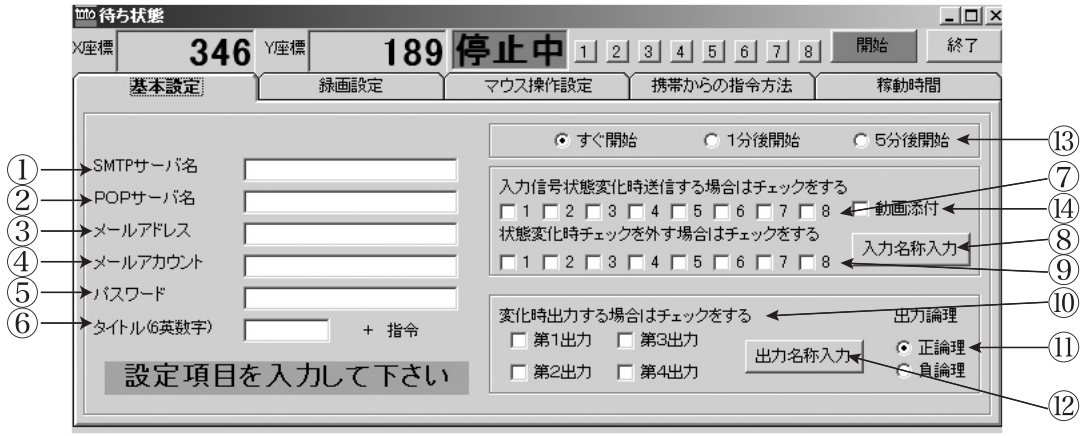
本器UKI-U-84をパソコンのUSBポートに接続して、番犬totoを起動します。
（アイコンをダブルクリック又はスタート→プログラム (P) →番犬totoで起動します。）
※途中でセキュリティソフトが表示された場合は許可して下さい。

(1) 下図の起動画面で設定を行い【開始】①を押して下さい。
設定が済んでいる場合は【開始】①を押して下さい。



(2) 開始を押すと下図画面になり番犬totoは機能を始めます。
再設定は【設定】②を押して下さい。番犬totoは機能を停止し設定モードになります。
設定後、【開始】①を押して、機能させて下さい。

基本設定



(1) パソコン用メール情報 (①～⑤) を入力します。

(2) タイトル (携帯から情報要求する時のSub<件名>) ⑥を英数字で6文字で入力します。
※番犬totoは届いたメールの6文字のSubタイトルで携帯電話からの指令だと判断します。指令だと判断し、実行した後はそのメールを自動的に削除します。

注) スイッチ・センサー等を接続しない場合は不要です。次ページに進んで下さい。

(3) ⑦の情報変化時送信にチェックが入っていれば、その入力信号が変化した時に変化時送信メールアドレスに情報を送ります。
※その時、動画を添付する場合は、⑭にチェックしてください。
※変化時送信アドレスは⑧【入力名称入力】をクリックすると設定出来ます。
同時に、入力信号に対し任意の名称が設定出来ます。
送信後、そのチェックを外す・外さないを⑨下段のチェックで設定します。

(4) 情報変化時送信をする時に、出力信号をONさせるには⑩変化時出力にチェックして下さい。(送信の間、出力信号をONします。)
例えば、侵入者が入った時、録画と同時にブザーや電灯を点ける事に利用します。
出力信号に名称をつける場合は⑫【出力名称入力】をクリックすると設定出来ます。

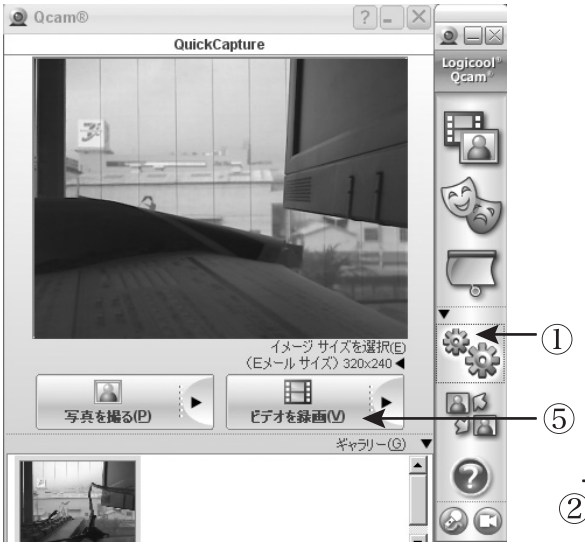
(5) 出力論理
出力した時に (ONさせる) 又は (OFFさせる) を切り替えます。

(6) ⑬センサー反応開始時間 (開始後、番犬totoが機能を始めるまでの時間です)
センサー等の設置時に反応開始時間を設定します。

録画設定の前に

カメラを接続し、カメラ付属ソフトを立ち上げ録画できる状態にし、ビデオの保存先を指定します。

(1)【設定変更】①を押します。



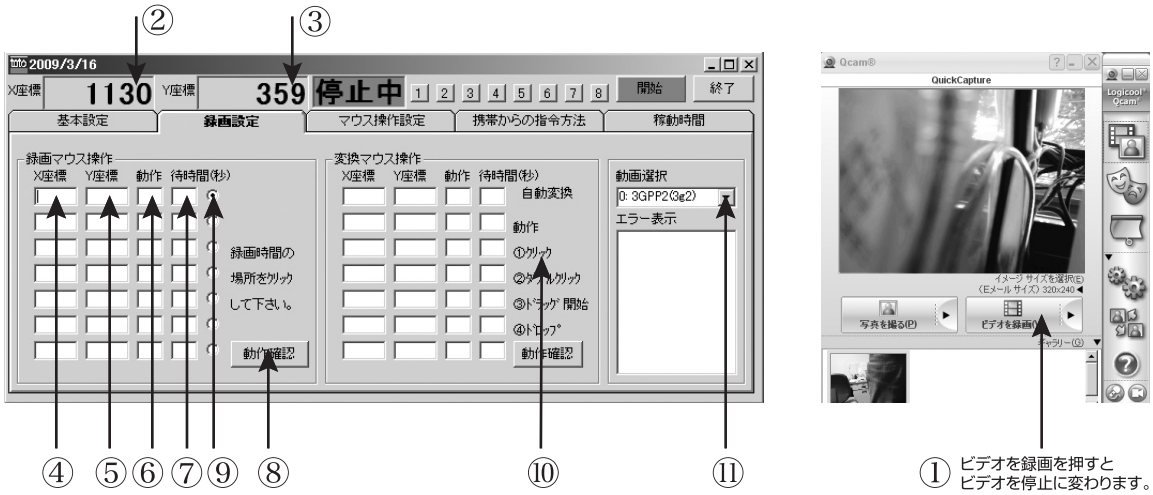
(2)【アプリケーション環境設定】②を押します。

(3) ビデオの保存フォルダを選択の【参照】③を押します。

(4) ページ2で記録しているフォルダの中にCapDataが作成されますので指定して下さい。

設定後、【ビデオを録画】⑤を押し、⑤が停止表示に変わるので、数秒後停止ボタンを押して、CapDataフォルダにデータが保存されているかを確認します。

録画設定　録画マウス操作の設定（カメラ付属ソフトで録画させる為のマウス操作を設定）



本器に録画及び、停止の動作（マウスクリック）を教えます。

(1)【ビデオを録画】①をクリックさせるには、【ビデオを録画】の位置を示すX・Y座標の入力が必要です。その為には、カメラ付属ソフトの【ビデオを録画】①にマウスを移動させ、画面上の②X座標・③Y座標の数値を④⑤に入力します。

(2)【動作】⑥を入力します。動作は⑩の中から選べます。
（ここでは（クリック）という動作を指定します）

(3)【待ち時間（秒）】⑦を入力します。（待ち時間＝録画時間になります。）
１０秒から３０秒を入力します。
※録画時間は携帯から変更することも出来ます。

(4)【録画停止】①のX・Y座標を入力します。
カメラ付属ソフトの【ビデオを停止】にマウスを移動させます。
画面上の②X座標・③Y座標を④⑤の2段目に入力します。

(5)【動作】⑥を入力します。動作は⑩の中から選べます。
（ここでは（クリック）という動作を指定します）

(6)【待ち時間（秒）】⑦を入力します。（待ち時間＝指示後に録画がおわるまでの時間）
カメラ付属ソフトの停止時間を考慮し待ち時間を２秒に設定します。

(7) テストとして【動作確認】⑧を押し、”CapData”に動画ファイルが保存されていることをマイコンピュータで確認して下さい。

(8) 録画時間に相当する待ち時間の横にある⑨にチェックを付けておいて下さい。
（この場合、一列目にチェック）

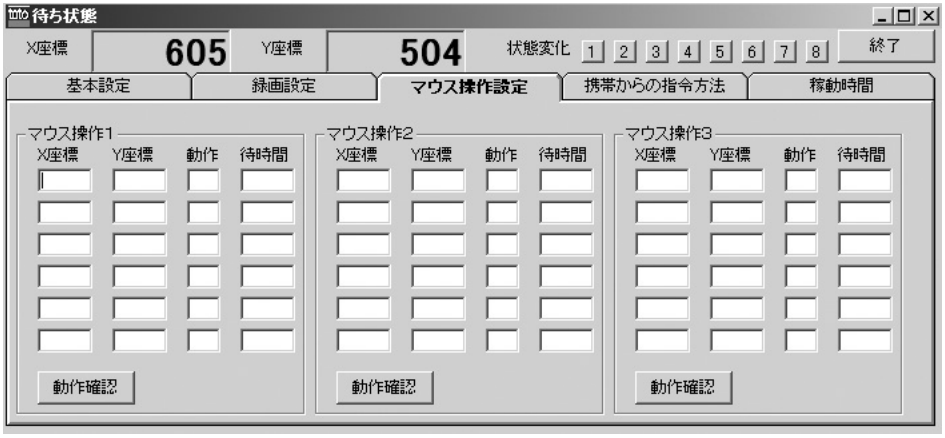
最後に

【動画選択】⑪で携帯電話に合う変換方法を選択して下さい。
携帯電話からも変更出来ます。（ドコモは１／SoftBankは２／AUは１２）
動画再生の出来ない場合は、QuickTimeをインストールして下さい。
QuickTimeのインストールの方法や、どれを試しても合わない場合は次ページをご覧下さい。

QuickTimeはアップル社で無料ダウンロードできます。
QuickTimeのインストール中の選択ではWindowsXpは３２ビットを選択して下さい。

【動画選択】②で、どれを試しても合わない携帯の時は、携帯動画変換のフリーソフト又は、シェアウエアを利用して動画変換ができるようにネットでダウンロードし、
【変換マウス操作】①を６ページの録画マウス操作と同様に設定して下さい。
（その場合は【動画選択】②を２２の”マウス操作”を選択しておいて下さい。）
ネット検索　”携帯動画変換”で、多くの変換ソフトがあります。

マウス操作設定



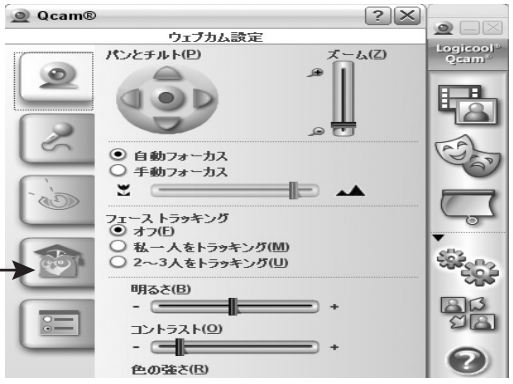
複数台のカメラを携帯電話から切り替える場合やカメラの向き、ズームを変更する場合に設定します。マウス操作設定は、１～３まで設定出来ます。
７ページの録画設定と同じ設定方法でX座標・Y座標等を設定して下さい。
次ページのカメラ切替参考例をご覧下さい。

カメラ切替参考例

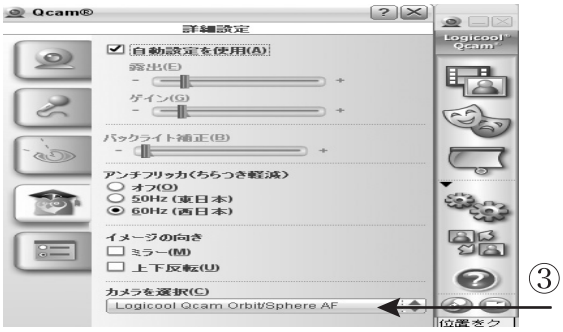
カメラの切り替えには、下記のように4つの設定が必要です。

(1)【設定変更】①を押します。

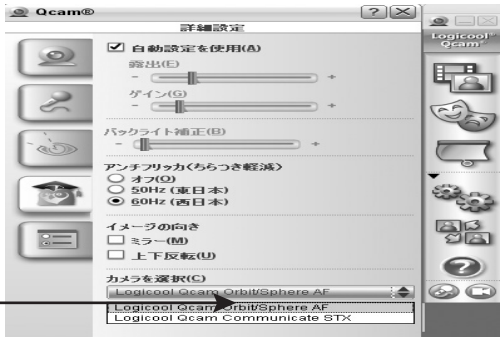
(2)【詳細設定】②を押します。



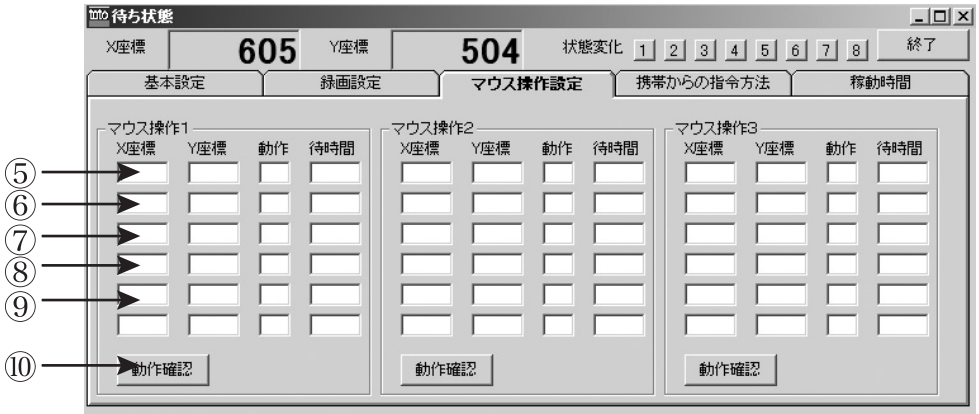
(3)【カメラを選択】③を押します。



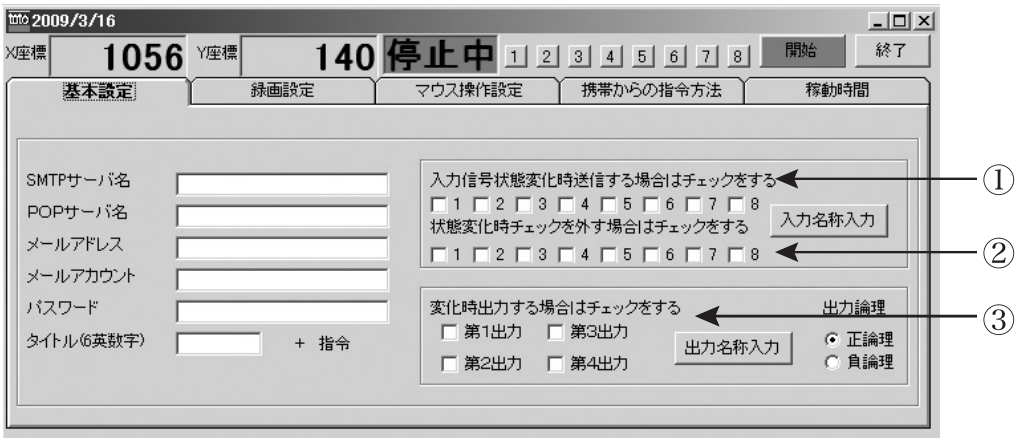
(4) カメラを選びます。



上記4つの設定を録画設定のように
①をクリックさせるために⑤の列にX座標・Y座標・動作・待時間を入力します。
続いて、②をクリックさせるために⑥の列にX座標・Y座標・動作・待時間を入力します。
③④も同じく⑦の列⑧の列にそれぞれ入力します。
⑨の列には、元の画面に復帰させるために、X・Y座標に0を動作に1を待時間に2を入力
最後に【動作確認】⑩ボタンで確認して下さい。



コマンド（携帯電話からの指令）



携帯電話からの指令は携帯電話のSUBタイトルの６つの英数字に続けて
０～６までの数字を入力することで行います。

説明呼出及び情報送信。	タイトル
【状態変化時送信】①にチェックを入れます。 例：左から２番目と４番目にチェックを入れます。 左から１番目と２番目にチェックをいれます。	タイトル ＋ 0 ＋ 数値 タイトル00101 タイトル011
【変化時出力】③にチェックを入れます。 例：第２出力と第４出力にチェックを入れます。 第１出力と第２出力にチェックをいれます。	タイトル ＋ 1 ＋ 数値 タイトル10101 タイトル111
【状態変化時チェックを外す】②にチェックを入れます。 例：第２出力と第４出力にチェックを入れます。 第１出力と第２出力にチェックをいれます。	タイトル ＋ 2 ＋ 数値 タイトル20101 タイトル211
直接出力の場合 ※コンプレッサー等の電源を切りたい場合 例：第２と第４を出力します。	タイトル ＋ 3 ＋ 数値 タイトル30101
録画時間の変更 録画時間には制限があります。（携帯機種による） 例：録画時間を２０秒に設定します。	タイトル ＋ 4 ＋ 数値 タイトル420
動画添付情報送信 例：動画選択に3GPP2を選択して情報出力を要求します。	タイトル ＋ 5 ＋ 数値 タイトル51
マウス操作 例：マウス操作１を実行します。 マウス操作２を実行します。 マウス操作3を実行後、コマンド5の動画添付情報送信51を実行します。	タイトル ＋ 6 ＋ 数値 タイトル61 タイトル62 タイトル631

稼動時間

入力信号がONしている間の時間を積算します。
リセットで0に戻ります。

ソフトタイマー
情報収集タイマー　３００ｍｓｅｃ毎
受信メールチェック　５秒毎

ユニット
ユニットサイズ　１８２×１１０×３４mm
取り付け　M3×２
筐体　鉄板　1.3mm

WindowsVISTAでの注意事項

インストールフォルダの選択画面でフォルダをDドライブにして下さい。

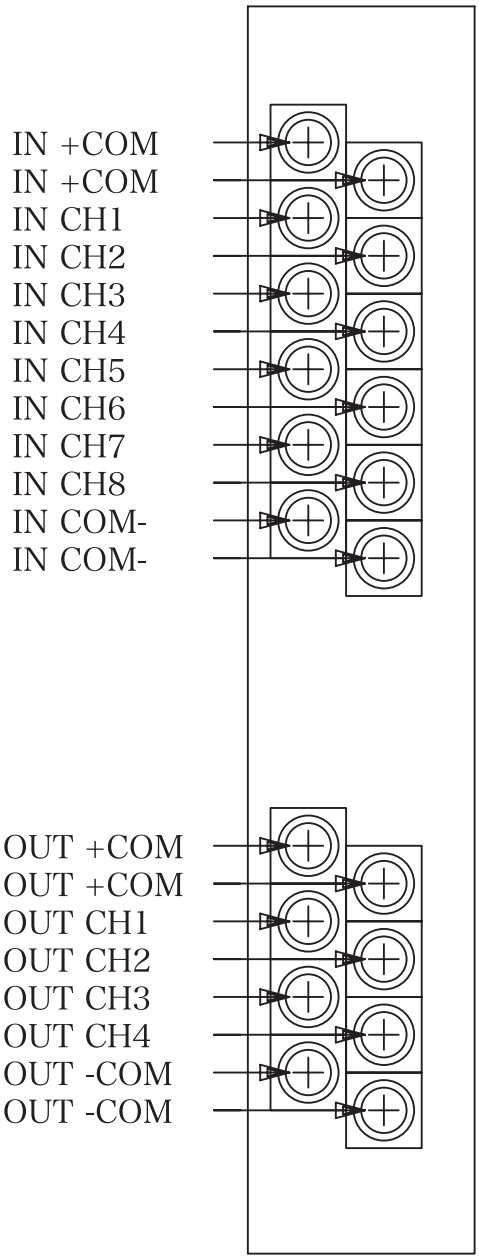
例えば、　　D：¥番犬totoと入力して下さい。
その際、カメラの保存先は　D：¥番犬toto¥CapData
にして下さい。
（CapDataは番犬totoを一度実行すると作成されるフォルダです。）

途中で、ユーザーアカウント制御で選択画面が出た時は許可をして下さい。
VISTAで動画変換をする場合、画面がチラツク事があります。

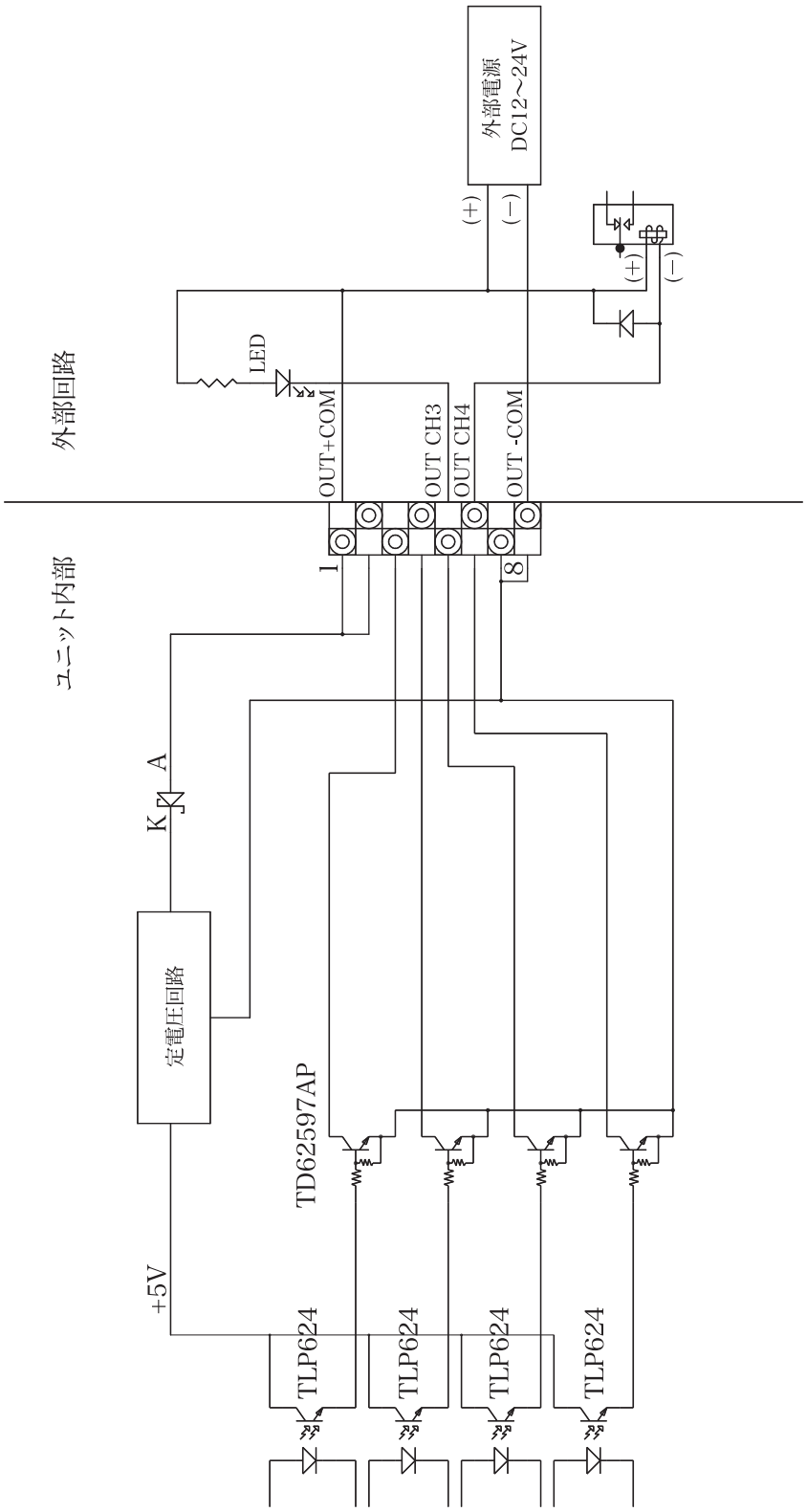
その他の注意事項

・メール送信は時間帯によって、時間のかかる場合があります。
・インターネット接続に制限時間が有る場合は、時間内でのご使用となります。
・セキュリティソフトが許可を求めてきた時は、許可を与えてください。
・セキュリティソフトの立ち上がり位置にカメラソフトを置かないで下さい。
（録画ボタンが隠れる時があります。右隅又は左隅に配置して下さい。）
・エラー時は録画設定画面の右下に内容が表示されます。
・携帯から動画選択を変更した場合、携帯の種類が状態変化時送信アドレスと違う場合動画選択を元に戻す必要があります。

端子名

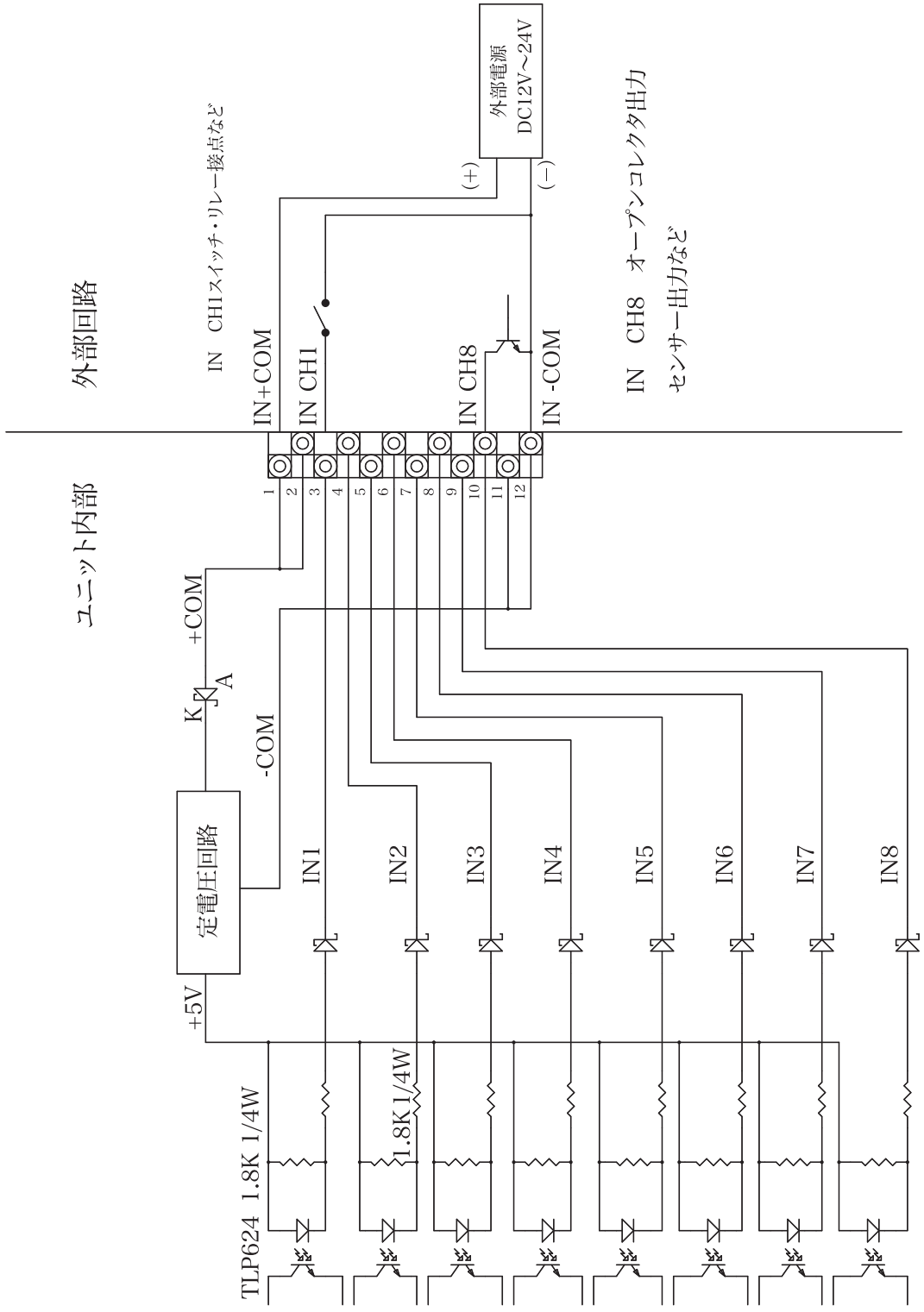

IN +COM
IN +COM
IN CH1
IN CH2
IN CH3
IN CH4
IN CH5
IN CH6
IN CH7
IN CH8
IN COM-
IN COM-
OUT +COM
OUT +COM
OUT CH1
OUT CH2
OUT CH3
OUT CH4
OUT -COM
OUT -COM

出力回路



リレーのコイルなど出力トランジスタには、サージ電圧保護回路は付加されていません。
よって、リレーやランプなどの誘導負荷を駆動する場合には、負荷側でサージ電圧対策を行って下さい。

入力回路


外部回路
ユニット内部
IN CH1スイッチ・リレー接点など
IN CH8 オープンコレクタ出力
センサー出力など
外部電源
DC12V～24V
(+)
(−)
IN+COM
IN CH1
IN CH8
IN -COM
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
+COM
-COM
K
A
定電圧回路
+5V
IN1
IN2
IN3
IN4
IN5
IN6
IN7
IN8
TLP624
1.8K 1/4W
1.8K 1/4W

使用上の注意

本製品を使用中に発生したデーターやプログラムの損失、または、破損に
ついての保障はいたしかねます。
バックアップ等の対策は定期的に行って下さい。
特に、標準品UKI-U-84T (TTLレベル信号) 使用時は
パソコンとの絶縁は行っておりません。オプションによる絶縁をお勧めします。
電源電圧が12V又は、24Vの外部信号とのやり取りは
UKI-U-84L(絶縁タイプ) をご使用ください。
万一、次のような異常が発生したときは、パソコンに接続しないで下さい。
煙が出ている・変な匂いがする・水が内部に入った・ぶつけて、破損した
このような異常が発生したままご使用になると火災の原因になります。
必ず、販売店に修理を依頼してください。

■本製品は精密機器です。以下のことをされると故障の原因になります。
・落としたり、衝撃を加えないでください。
・重いものを上にのせないでください。
・分解したり、改造しないでください。(感電・動作不良の原因になります。)

■本製品及び本書は株式会社うきの著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。

■本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。

■本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。

■本ソフトウエアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、1部だけ複写できるものとします。

■本ソフトウエアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。

■本ソフトウエアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウエアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。

■書面による事前承諾を得ずに、本ソフトウエアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サプライセンスすることを禁止します。

■本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外へのサポート等を行っておりませんので、予めご了承ください。